

平 成 1 5 年 8 月 2 7 日
 青 森 統 計 ・ 情 報 セ ン タ ー 発 表

平成15(2003)年産水稻の作柄概況 (青森) (8月15日現在)

水稻作柄概況調査(8月15日現在)は、それぞれの生育段階に応じて、穂数、もみ数及び登熟状況のうち計測可能なものを実測し、それ以外の収量構成要素は、過去の調査結果と調査時点までの気象データ等により推定し、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行っている。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

図 1 地帯別作柄概況 (参考)

【調査結果の概要】

平成15年産水稻の8月15日現在における作柄は、県平均で「著しい不良」と見込まれる。

これは、6月下旬以降、天候が低温・日照不足で経過したため、全もみ数がやや少ないと見込まれることと、登熟の不良が見込まれるためである。



表 水稻の作柄概況 (8月15日現在)

区 分	出 穂 最 盛 期			全もみ数 の 多 少 (穂数の多少 平	1穂当たり もみ数の多少 年 比	登熟の良否 較	作 柄
	本 年	対平年差	対前年差					
県 平 均	月 日	日	日	やや少ない	平年並み	やや少ない	不 良	著しい不良
(参 考)								
青 森 地 帯	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良	不 良
津 軽 地 帯	8. 11	6	4	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良	やや不良
南 部 ・ 下 北 地 帯	やや少ない	平年並み	少 ない	不 良	著しい不良

注：1 出穂最盛期とは、出穂済み面積割合が50%に達した期日をいう。
 2 平年及び前年差の 印は早いを示す。